

県医労新聞

2008年12月

盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合

電話 019-623-8271

FAX 019-623-8273

編集発行人

佐々木 茂 喜

毎月1回発行 1822号(月刊37号)



11月1日 北部ブロック集会「マールブルアート」

女性部ブロック集会



目次

- 1P 団体交渉
11.13中央行動
- 2P 6支部合同会議
久慈医療懇談会
地公共闘交渉
- 3-4P 女性部ニュース
- 5P 青年部ニュース
署名のとりくみ
- 6P つぶやき 当選者発表
とんがらし
- 7P 職場川柳 パズル
東北労金
1・12月の予定



11月1日 三陸ブロック集会「韓国語講座&キムチ・チヂミ作り」

当局と団体交渉を開催 地域医療と病院現場の 過酷な状況を訴え

11月19日に当局と団体交渉を行い、現場で起きている様々な問題について交渉しました。（詳細は11月25日付県医労新聞号外を参照）

年末年始について医療局長は、「年末年始に働いてもらうのはご苦労をおかけするが、働いてもらいたい。ただ年末年始は特別な日ではないとは言えないが、毎年あることだし毎回協約を締結することはないのでは。年次も取るなどとは言っていないし申請があれば取らせている」と回答。組合から「当局が年次の制限をしていないと言っても現場では取らせてもらえない。見合い年次も昨年は協約が結ばなかったため無くなり、更に取れなくなった」と訴えると、「他の部局には『見合い年次』と言うものはない。

意味も初めて知った」と、今までの歴史すらも知ろうとしていない実態が見えました。

五時間時差出勤についても、「労働条件変更であって引き下げではない。時差出勤しても通常の勤務時間と同じなので疲れも無いはず」と、変則的な勤務によるストレスや現場で働く職員の苦労を全く考えていない回答でした。

団交の時間が足りなかったため、諸手当削減・時差出勤拡大等の課題は継続協議とし、無床化等の経営計画には触れる事はできませんでした。当局は県民や職員を無視し、経営の効率化のみを追求しています。当局に改めて地域医療の大切さ、職員の待遇改善の必要性を分からせるために組合に結集しましょう。



当局との団体交渉の様子（左：当局 右：中央執行委員）

なくせ貧困 守れ雇用 生活危機突破!!

11・13中央行動

全労連や全商連、日本医労連などの実行委員会主催による総決起集会が東京・日比谷野外音楽堂で5500人を集めて行われました。

生活悪化の打開を求めて行われたこの集会で、全労連の大黒作議長は「悪政を国民的な反撃でやめさせ、平和を守るために力を合わせよう」と強調。そのほか、実行委員会を代表して、日本医労連の田中千恵子委員長も挨拶。エッセイストの海老名香葉子さんが、「具合が悪く入院したときに看護師さんにお世話になった。看護師さんが疲れ果てている。笑顔で働ける職場

なくせ貧困！ 守れ雇用！ 生活危機突破！
組合は徹底組織し国民の力を結ぶ！
11・13中央総決起集会
東京・日比谷野外音楽堂



に」と激励しました。その後、周囲を集会参加者が包囲してシユプレヒコールを上げる中、日本医労連参加者代表は厚生労働省・総務省交渉を行い、医療現場の実態を訴え、改善を要求しました。

6支部合同会議

無床診療所化阻止!!

県・医療局は11月17日の発表の前に、沼宮内病院と5診療所の無床化の方針を関係6市町村に示しました。これを受け急遽、6支部合同会議を開催しました。会議には当該支部の役員の他、各地域の県医労友の会（OB会）役員も参加（全体15名）し、今後の活動方針について討議しました。会議の中では各地域での実態として、「ベッドがなくなったら困るのは地域の人」「事務局長に聞いてもわからないと言われた」等、混乱している状況が出されました。

限られた時間の中で、無床診療所化を阻止するためには、地域の方々の大きな声が必要です。該当地域で住民組織を結成し、医療懇談会や学習会の開催で、地域の活動を盛り上げるとともに、議会などにも要請していく事としました。



久慈支部で医療懇談会 医師の過重労働も話題に

11月16日（日）午後3時から小久慈公民会で開催された、久慈支部・「地域医療を守る会主催」の地域医療懇談会には、21人の方々（＋主催者等6人）が足を運んでくださいました。

〇〇支部長が久慈病院の現状、特に医師不足の実態を話し、「地域医療を守るためにいろいろご意見を聞かせていただき、請願署名に協力を」と訴えました。会場には市議会議員（共産党）も出席。住民からは、診断書がすぐ出ない、医師の過重労働も問題だ、みんなが病院を守ること大切だ、ほとんど全ての参加者が要望、苦情、期待、不安を話し、運動していくことが確認されました。

地公共闘で総務部長交渉 通勤手当、 単身赴任手当改善

地公共闘（県医労など7団体）では、11月12日、総務部長交渉を行いました。これまで県庁座り込み、知事宛ジャンボハガキなどに取り組みながら、要求前進をめざしてきました。この日の交渉で、通勤手当40キロ以上の改善、最高額の改善、単身赴任手当の区分等の改善が示され、交渉を妥結しました。

時短については、国、他県の動向を見ながらということ、岩手県から時短をするところまでは到達しませんでした。遅れることなく実施することを確認し、各任命権者とも交渉していくこととしました。

日本医労連東北地方協 13th 第13回院内保育所交流集会

つなぎ温泉「ホテル大観」で開催され、東北6県から65名が参加しました。一日目は日本医労連・田中委員長からの基調報告に続き、盛岡医療生協川久保病院の言語療法士・鈴木亜古さんから「ことばの発達 意味からことばへ」と題して講演いただきました。ことばのしくみや障害、子どもとの関わり方など、今後の保育に応用していける内容で、とても参考になりました。

夫婦デュオ・パートタイムによるミニ・コンサートでは一緒に歌ったり踊ったりとリラックスした時間を過ごし、夜の交流会では岩手の歓迎企画として「盛岡の四季」を紹介、中央あゆみ保育所の職員も大奮闘しました。

二日目は2会場にわかれ分散会を行い、委託などの厳しい現状などを交流しました。



第34回女性部ブロック集会

集まれば元気!!



仕上がりを楽しみです。

集会には、
5支部・本部
23名が参加し
ました。

仕事を忘れ
て、マール
アートに集中
したひととき
でした。

北部ブロックは、11月1日、支部交流と色とりどりのビー玉とワイヤーでつくる「マールアート」に挑戦しました。

支部交流では、病院の規模に関わらず大変な職場の状況が出され、権利行使の難しさも話されました。そんな中でも、いつまでも元気に働いていきたいという思いが感じられた交流でした。

その元気の一步に、マールアート。窓辺のアクセサリと言われるだけあつて、光の加減で色彩や表情が変化し、アンティークな雰囲気です。



ちりばめた宝石のようなオブジェ

北部
七色に輝くマールアート

病院をなくせならで

母親大会実行委員会が県に要請

11月14日、第54回岩手県母親大会実行委員会は、県に対し、35人学級の拡充、公立病院改革ガイドラインに基づく病院の統廃合・無床診療所化をやめることなど、

がっている。ベッドが無くなったらどこに行けばいいのか」「住民の命を守ってほしい」など、切実な声が出されました。



宮館副知事に要請書を手交する渡辺母親大会実行委員長

陸 韓国文化を味わう

三陸ブロックも、11月1日、釜石市在住の太田千恵子さんを講師に、「韓国語講座とキムチ・チヂミ作り」で、韓国の食生活や文化などを学びました。

「アンニョンハセヨ（こんにちは）」「アンニョンヒゲセヨ（さようなら）」など、あいさつの言葉を教えてもらい、自分の名前を入れて自己紹介もしてみました。

料理教室では、韓国の食

文化に触れるということで、チヂミ、キムチなど、日本でも馴染みの料理に挑戦し、本場の味を教えてくださいました。みんなで料理すること、より交流が深まりました。

食後は、講師の太田さんが結婚式で身につけたというチマチヨゴリを一人ひとり



韓国の民族衣装
チマチヨゴリを着て
「これで私もチャングム」



「学習会」でも、ホッと一息 中央支部女性部が権利の学習会

10月31日、中央支部女性部は、保育所を利用して、子育て中のお母さんを中心に、権利の学習会を開催しました。〇〇〇本部女性部長を講師に、子育てに関する権利を中心に学習。その後の交流では、「美味しいお弁当を食べて、ゆっくり息抜きできた。こんなにのんびり出来たのは久しぶり」との本音も聞かれ、ほんの1時間半足らずの時間でしたが、ホッと一息つけた時間になりました。



権利の学習をする中央支部のみなさん

試着させて頂きました。

華やかな衣装、食事、ハングル語と、お隣・韓国の文化を存分に味わった二日でした。

集会には3支部・本部18名が参加、堅苦しくなく若い参加者も楽しめた集会でした。



「チヂミは外はカリッと、中はモチリと」講師の太田千恵子さん

胆沢支部青年部

スター★ウオッチングと鍋で交流



天気は悪くても楽しく交流しました(^o^)/

天気は悪くても楽しく交流しました(^o^)/
 決していくことが出
 来ます。青年部な
 らではの発想で青年
 部活動を行い、職
 場の問題を解決し
 ていきましょう。

10月10日に胆沢支部でス
 ターウオッチングが開催さ
 れ、鍋パーティーやゲームで
 楽しく交流しました。
 最近の青年部活動は仕事
 の忙しさやニーズの変化によ
 り停滞気味になっています。
 特に支部の青年部活動を行

うのは大変困難な状況に
 なっています。

しかし、日々の職場での
 ストレスや疲れを発散する
 ためにも青年部活動はとて
 も重要なものです。当局に
 「疲れた」「ツライ」と訴え
 ても殆ど解決できません
 し、見て見ぬふり
 をされてしまう事
 が多くなっていま
 す。組合、しかも
 青年部であれば、
 同じ青年同士で情
 報交換や交流を深
 めながら問題を解
 決していくことが出
 来ます。青年部な
 らではの発想で青年
 部活動を行い、職
 場の問題を解決し
 ていきましょう。

県医労青年部スキー・スノーボード交流会

日時:1月17、18日(土、日)

場所:安比高原

スキー、スノーボードをしない人でも楽しめる企画を
 用意しています!みんなで参加して大いに盛り上がりよう!!



ゆとりと誇りを持って、元気に働きたい

医労連キャラバン宣伝署名、院内署名行動



コープ コルザ前

11月6日の昼時間に、医
 労連キャラバンの一環として、
 看護師確保法を求める署名
 等に取り組みました。県医労
 磐井、南光支部からは4名
 が参加し、合わせて121筆
 の署名を集めました。



千厩支部

11月12日、9:00~12:00の3時間、
 病院玄関で医師・看護師の確保と財政
 保障を求める国会請願署名に取り組み、
 212筆の署名が集まりました。

つばざやま

日帰りライフプランセミナーを受けました。一年が経過して変わったことは、支出を書き出すようになったことです。毎月赤字であることがわかりました。

胆沢支部 セントアキ

朝・夕とめっきり寒くなり、周囲でも風邪をひいている人を多く見かけます。冷え性の私は早々と毛布2枚と掛け布団で寒さをしのいでいます。

大東支部 栗ひろい

孫の子守りをしている祖母は「今日は七福神と遊んだのよねえ」と言う。：七福神!?ん?見渡すとそこには七人のこびとが並んでいた〜!

中央支部 クッキーママ

あと数百メートルで40

km。わたしも通勤手当上げてほしい。

花巻厚生支部 ○○○○

朝夕、肌寒さを感じるこの頃。食欲の秋で何を食べても美味しい。職場の話題?と思うと暗くなるので、病院玄関を出たら、考えないようにしている私。建設的でないな。

胆沢支部 匿名希望

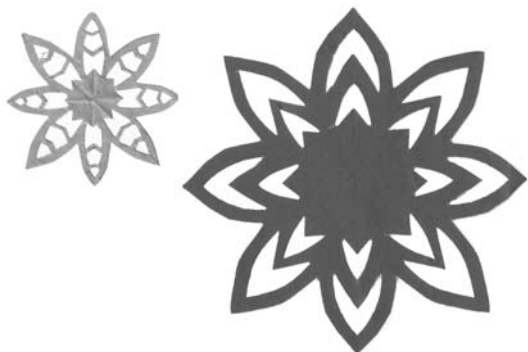
病院業務手当だけは、なくさないで。

高田支部 遼

十月号パズル 当選者発表

10月号の懸賞パズル「まちがいは七つ」には、20名の応募があり、全員が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

当選者(敬称略)
DS子(北上支部)、セントアキ(胆沢支部)、匿名希望、チャッピーママ(以上、磐井支部)、カラマゾフ(花泉支部)、匿名希望、栗ひろい(以上、大東支部)、匿名希望、ドスコイ王子の妻、エアグルーヴ(以上、大船渡支部)



最近、切り紙にはまっています。色々なレパートリーを増やしたい。

大東支部 匿名希望

とんがらし

「アンケートをやらせて欲しい。良いという人が必ずいるはずだから」。十五年前、軽米病院に「変則三交代制」を導入しようとした際の、当時の職員課長の言葉です。一人でも良いという人がいれば導入の根拠にする腹でした▼この時医療局が提案してきたのは、日勤、中勤、夜勤の変則交代制。「中勤」は13時〜21時45分、「夜勤」は21時15分〜9時15分、「日勤」は、8時30分〜17時15分、というものでした。ハッと気付いた方もいるかと思いますが、そうです、今回、医療局が提案してきた①五時間までの時差出勤②二交代制の導入は、十五年前に実施を断念させた「変則」「特殊交代制」の復活が念頭にあるでしょう▼看護協会の中央ナースセンター事業報告書に「潜在看護職員の離職理由」というアンケート結果があります。看護職の離職の理由は、「勤務時間が長い。超過勤務が多い」「夜の勤の負担が大きい」「責任の重さ・医療事故への不安」などが上げられています。ギリギリの人員しか配置されない中での、夜勤を含む長時間労働は、看護職にとって極めて過酷な勤務条件であることが物語っています▼二十四才の看護師、「不規則勤務で過労死認定」。今年十月十八日、新聞各紙が一斉に報じました。時間外勤務が過労死認定基準に達していかなくとも、不規則勤務などを総合的に判断し労災認定したのです。今回の医療局の提案には、「看護師だから夜勤は当たり前」「ちよつとした勤務時間の変更」という、時代錯誤な、無神経な「看護職員使ひ捨て」の思いが見え隠れして怒りが湧いてきます。

職場川柳

○住民を 欺きすすめる 無床化か
(信頼される人)

○手当なし これで上がるか モチベーション
(無欲の人)

○「良質」が あまねく・きんてん 消し去つて
(国語学者)

○六首長 まるで詐欺だと 慷慨し
(怒れる男たち)

○ゴリ押しで 命を縮める 時差出勤
(長生きしたいナース)

〈東北ろうきん〉のキャッシュカード
ならではのサービスです!

ATM利用手数料 全額還元 サービス

他行ATM・CDご利用手数料が全額返ってくる!

〈東北ろうきん〉のキャッシュカードで、銀行・信金など全国のATM・CD加盟店
機関およびゆうちょ銀行、セブン銀行のATM・CDから「お引出し」された額
のご利用手数料を、【月曜】・【土曜】・【日曜】・【祝日】の手数料も含めて
ご利用回数分全額キャッシュバックするサービスです。

ご利用手数料はいったんお支払いいただきますが、当月のご利用手数料全額をまとめて
毎月15日にご利用の口座(カードローン等の場合はご返済口座)に入金いたします。

対象となる
キャッシュカード

- 普通預金 ●マイプラン ●生き生きカード
- 貯蓄預金 ●ミニット

うれしい
キャッシュ
バック!

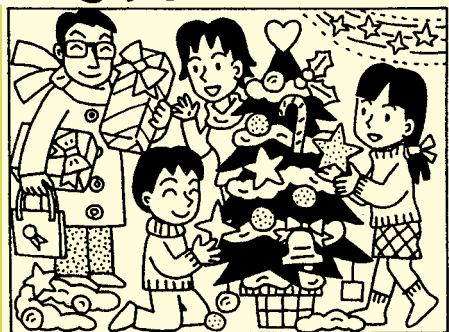
ろうきん東北サービスセンター 高田 美穂

上下どちらかの絵に7つ
の間違い箇所の印をつけ、
ハガキに貼付して、応募し
て下さい。正解者の中から、
抽選で10名の組合員に記念
品を送ります。送り先は
〒020-0023 盛岡
市内丸1-1、県医労「懸賞
パズル」係まで。締切は12月
末日(必着)です。また、抽選
には関係ありませんが、ハ
ガキの余白に「つぶやき」

懸賞パズル



まちがいは7つ 羽月桂子



(職場の話題など何でも)
を、ぜひ一言お書き下さい。
県医労新聞で紹介する場合
がありますので、匿名希望
の場合には、その旨を書い
て下さい(ペンネーム可)。
ただし、当選した場合は、記
念品の送り先が必要となり
ますので、支部名・本名の
記入もお忘れなく!

12月の予定

- 2日(火) 看護部会
中央支部医療懇談会(上田公民館)
- 6日(土) 青年部長・書記長会議
(北上市さくらホール)
遠野地域医療懇談会(あえりあ遠野)
- 11日(木)~12日(金)
日本医労連春闘討論集会(熱海)
- 12日(金)~13日(土)
日本医労連自治体病院労組交流集会(熱海)
- 13日(土) いわて労連評議員会(水産会館)
- 19日(金) 岩手医労連精神部会(いわて労連)
盛精従組闘争報告激励集会
(エスポワールいわて)
- 20日(土) 拡大闘争委員会(エスポワールいわて)

1月の予定

- 9日(金) いわて労連・春闘共闘会議合同旗開き
- 15日(木) 岩手医労連旗開き
- 17日(土)~18日(日)
青年部スキー交流会(安比高原)
- 23日(金) 情勢学習会、県医労旗開き(ホテル紫苑)
- 24日(土) 第141回中央委員会(ホテル紫苑)
- 31日(土) 岩手医労連中央委員会